



日本鋳物中子工業会
会長 小澤 俊孝

ごあいさつ

いよいよ新しい年号、新しい時代の幕開けをまもなく迎えられる事となりました。平成最後の正月を迎え、感慨深いものを感じました。当会もおかげさまで第26期に入りました。平素の会員、賛助会員の皆様方のご協力、ご賛同に厚く御礼申し上げます。

新しい時代の大きな変革期にどのように向かって進んでいくべきか迷っている時間も無い程の速いペースで時代の変化を感じているこの頃でございます。日本鋳物中子工業会といたしまして、この大きな節目をどのような方向性で進めて

いくべきか？まずもう一度、当会の発足時の原点を振り返り、当会の目的である“交流、情報交換、協力の下で、調査、研究、鋳型中子の品質向上と業界の地位向上、これをもって鋳造業界の発展に寄与する”これを礎として新しい時代に対応できる事業として見直すときではないでしょうか。IOT、AIの活用、緊急時のBCPへの取組み、人材不足での外国人の採用等、テーマ山積ですが、個々の企業だけでは対応が難しい問題を当会の会員、賛助会員の皆様と共に協力、情報交換の下で取組んでいけば解決の糸口が見えてくるのではないのでしょうか。

日本鋳物中子工業会といたしましては、更なる一致団結が必要な時期だと思っておりますので、ご協力、ご賛同を宜しくお願いいたします。

亥年の本年も当会会員の皆様方のご活躍、ご健勝の年となる事を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。

第25回定時総会並びに工場見学会の開催

昨年11月9日に福岡市内で定時総会を開催。正会員22社37名と賛助会員10社15名、総勢57名が参加。総会前には久留米にある有限会社案納商店様と、ウィンズテック株式会社様を見学。今年で65周年を迎えられる案納商店は鋳物副資材販売や技術コンサルタント、中子量産事業を行う会社で、中子成型工場の見学をさせて頂いた。ウィンズテック株式会社は2004年に設立された会社で、ダイキャスト向けの2層式中子成型を中心に生産。ブローヘッドが可動するタイプとブローヘッドは固定されていて台ベースが可動するタイプの2種類成型機での生産を見学させて頂いた。1度目を吹き込み、反転し中空にした後に2度目の吹き込みで違う種類の砂を吹き込み焼成する。1層目を高強度、2層目を低強度にすることで、耐久性と崩壊性の両方を兼ね備えている中子になるとのこと。焼成後は中子を保温させてじっくりと熱を中まで通す工夫もされていた。両社ともに様々な工夫をされており、平均年齢35歳という若手中心社員とベテラン社員が力を合わせて働かれていて、見学した会員からは「とても参考になった」との声が聞こえた。

総会の冒頭では小澤会長より日本鋳物中子工業会の役割、今後の展開について想いを語られた。事業報告及び決算報告、事業計画および予算案を全会一致で承認。中子ニュースについては今期年2回発行を目指したい。



定時総会 ホテルモンテラ・スール福岡



ウィンズテック株式会社

特別講演

「10年後の鋳造産業と産学官金連携」

第25回定時総会後に室蘭工業大学 清水一道博士による講演会を開催。講演内では「今後生き残るためには試作品を作れるような会社になっていく必要がある。1社でやるのではなく、数社で協力して大手に勝つ。産学官金連携、オールジャパンでやらないと鋳造業界は厳しいと思う。エネルギーや砂の再利用、リユースが重要になってくる。挑戦したい人だけにチャンスがある。熱が必要、熱量がない人は仕事が出来ない。エネルギーは高いところから低いところへ行く」と、熱いお話を聞くことができ、参加者も清水博士の熱量が伝染して真剣に聞き入っている様子であった。



室蘭工業大学 清水博士

銑鉄鋳物県別生産重量・金額 (上位20位)

順位 (2016年順位)	都道府県名	2017年		2016年	
		生産量 (千トン)	生産金額 (億円)	生産量 (千トン)	生産金額 (億円)
1 (1)	愛知	1,285	2,165	1,264	2,253
2 (2)	栃木	217	383	215	410
3 (3)	島根	194	344	182	314
4 (4)	福島	188	366	171	318
5 (6)	静岡	122	242	107	217
6 (5)	長野	120	258	110	222
7 (14)	岩手	114	191	65	145
8 (7)	広島	109	266	106	258
9 (8)	岡山	92	176	85	154
10 (9)	大阪	82	218	75	203
11 (15)	新潟	74	233	64	193
12 (10)	富山	72	144	69	139
13 (16)	茨城	70	150	64	127
14 (13)	埼玉	70	166	66	152
15 (12)	岐阜	69	180	66	167
16 (11)	兵庫	69	182	68	181
17 (17)	三重	55	110	54	105
18 (18)	山形	48	75	47	74
19 (19)	愛媛	37	92	35	86
20 (-)	福岡	34	163	-	-

出所：日本鋳造協会調べ

技能実習生制度について

総会開催時に松下隆彦副会長より技能実習生制度についての報告があった。

「経済産業省素形材産業室の岡本室長に浜松においていただき教えていただきました。今まではJITCOでの技能実習生の取り扱いが、今後は外国人技能実習

機構になり、機構の定義に合わせますと作業内容は造型作業、安全衛生、関連業務、周辺業務、梱包出荷の作業があり技能実習制度を鋳型の製造業でも登録できるということです。ある会社では既に鋳造業種として実習制度を活用されています。皆さんも活用していただければと思います」と報告された。

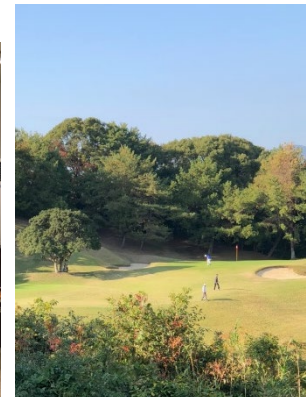


(上) 経済産業省素形材産業室室長 岡本様
(左下) 参加者集合写真
(右下) 懇親ゴルフコンペ



来賓の経済産業省 素形材産業室室長の岡本様より「素形材産業の9割は中小企業である。利益が上がっていないのが現状で利益の正しい分配をしていない事が問題である。素形材産業は自動車依存であり、お客様が自動車関係で一本足産業構造になっているのが原因である。新たな外国人材受け入れに関する在留資格「特定技能」の創設について法律は決まっているが、運用の在り方を議論しながら作っている。新しい資格は「労働者」なので位置付けが変わります」とお言葉を頂戴した。

一般社団法人日本鋳造協会 専務理事の鈴木晴光様からは「同じ鋳造業として中子工業会とは切っても切れない関係であり、同じ業界で2つの団体が共同歩調を取りながら盛り上げていきたいと思っております。ご理解、ご協力、ご支援を宜しくお願い致します」とのお言葉を頂戴した。



◆編集後記◆ 事務局より

- 現在の正会員76社、賛助会員15社です。事業計画は大きく変更はないですが、3月に常任理事会を開催予定です。会員訪問は現在計画中です。
- 会員の皆様の情報・ご意見・ご希望お待ちしております。
- 年会費の納入をお願い致します。